

過去5年間の肝炎対策の取り組みと成果について

島根県健康福祉部

平成 29 年 3 月 31 日

1) 市町村における肝炎ウイルス検診等

市町村に対し、肝炎ウイルス検査を受ける機会を増やすこと、無料化や肝炎週間等に合わせた広報活動の実施等を検討するよう、依頼を行ってきました。その結果、平成 24 年度当時に比べ、平成 27 年度は約 1.5 倍に件数が増えています。

C型肝炎ウイルス検診

平成 24 年度 3,052 人 ⇒ 平成 27 年度 4,651 人

B型肝炎ウイルス検診

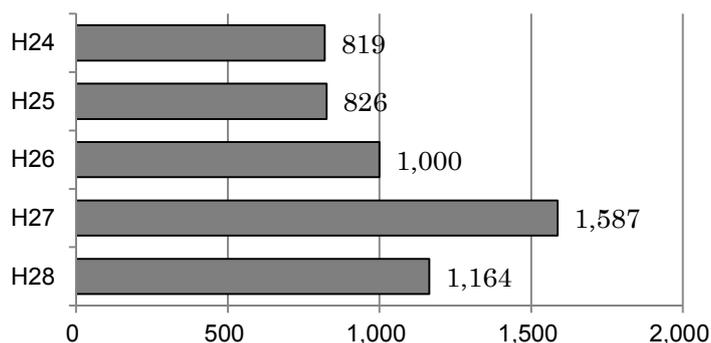
平成 24 年度 3,048 人 ⇒ 平成 27 年度 4,648 人

2) 肝炎治療費助成制度

近年、次々と新しい治療方法が認められてきているところではありますが、医療機関及び患者の方への新治療法・新薬の迅速な情報提供に努めています。また、保健所窓口においても申請者の方からのお問い合わせに随時お答えし、申請者の方の理解の促進に努めています。

(単位：人)

年度	申請数
H24	819
H25	826
H26	1,000
H27	1,587
H28	1,164



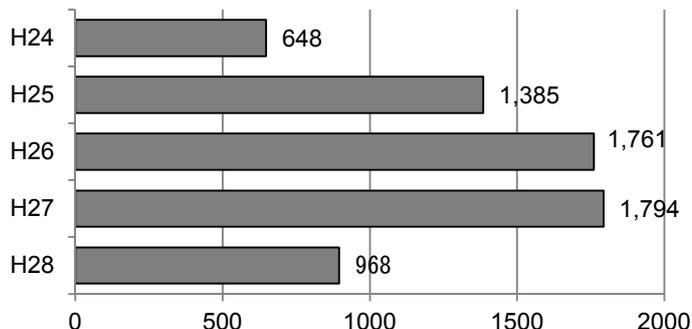
3) 肝がん重症化予防事業

○肝炎ウイルス検査

肝臓週間に合わせ実施した街頭キャンペーンをはじめ、様々な方法で広報活動の実施に努めてきました。また、平成 24 年度から地域の利便性を考慮し、肝炎ウイルス検査を受けやすくするために委託医療機関を拡充したこともあり、年々検査件数が増加しています。

(単位：件)

年度	検査件数
H24	648
H25	1,385
H26	1,761
H27	1,794
H28	968



※平成 29 年 3 月 31 日把握分

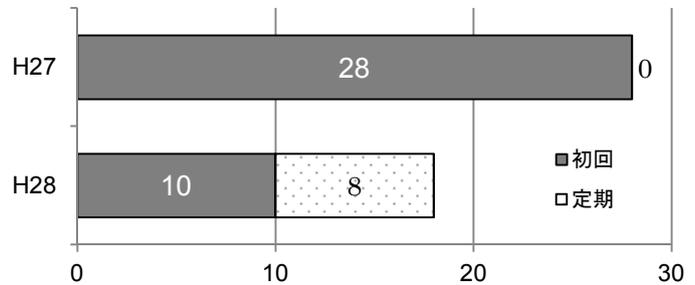
○肝炎等精密検査費用助成制度

平成 27 年から開始され、平成 28 年度には対象者の要件が緩和され、助成回数も増加されました。また、肝炎ウイルス検査の委託医療機関や保健所に対し、陽性者の方への制度の説明を行うよう依頼を行ってきました。

(単位：人)

年度	初回	定期
H27	28	0
H28※	10	8

※H29年3月末時点



○肝炎フォローアップ事業

平成 27 年から開始され、市町村においてもフォローアップを行う体制が構築され、市町村と連携し、実施しています。

4) 肝機能障がいによる身体障害者手帳

平成 22 年度～平成 28 年 3 月末までの総交付者数 64 人

うち、平成 28 年 3 月末時点での所持者数 37 人

※平成 28 年 4 月 1 日より肝臓機能障害に係る認定基準が見直され、認定対象の拡大や、1 級・2 級の要件の緩和がなされています。